

平成28年度 障害当事者部会の活動について

◆実施状況

第1回（平成28年6月16日）…

部会委員の自己紹介、障害当事者部会から発行する広報誌について、文京区心のバリアフリーハンドブック作成の協力依頼について

第2回（平成28年8月23日）…

文京区心のバリアフリーハンドブックの記載内容について意見交換、文京総合福祉センターまつりの参加について、当事者部会広報誌の配布状況について

◆内容

(1) 第1回

・部会委員の自己紹介

部会の意見交換を円滑にするために自己紹介に時間を割いて実施をした。また部会に参加した動機などの発表もした。

・障害当事者部会から発行する広報誌についての意見交換について

広報誌は第2号、第3号の発行についても検討したい。他にインターネットを利用しての広報なども考えていきたい。みんなで話しあって広報のやり方を考えていきたい。部会委員が様々な施設まで出向き、直接広報するという方法もあると思う。『部会委員から足を運ぶのも大事な活動。』等の意見があがった。引き続き検討していく。

・文京区心のバリアフリーハンドブック作成の協力依頼について

今年度、文京区障害者基幹相談支援センターが区の委託を受けて改訂作業を進めている。部会委員の声を聞かせていただきたく、ご協力いただきたい旨事務局から依頼があり、部会の承諾を得る。以下のような意見が出る。「～してあげる」という文言が多いと思った。健常者が何かをやってあげるというよりも、障害者も対等の立場であるという記載の仕方をしていただければと思う。第2回でさらに意見をまとめていく。

(2) 第2回

・文京区心のバリアフリーハンドブックの記載内容について意見交換について

事前に意見をアンケート形式にて募り、当日意見交換を行う。各部会委員の障害や立場から活発な意見が出る。きちんとした情報を提供し、誤解を受けないような表現をしてほしいなどの意見が出る。

・文京総合福祉センターまっりの参加について

今年度も11月12～13日にて開催を予定している。事務局より、出店など何かしらの形で当事者部会から参加をして障害についての理解や部会の広報をしていければ良いのではないかと提案がある。

参加の可否や内容については今後も検討をしていく。

・当事者部会広報誌の配布状況について（別紙参照）

現在（平成28年8月23日現在）、50か所、964部を配布した。